

平成28年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

<決算規模>

- ・歳入総額 232 億 1,976 万円【前年度：227 億 4,557 万円（2.1%増）】
- ・歳出総額 217 億 8,524 万円【前年度：210 億 9,683 万円（3.3%増）】

<収支状況>

- ・歳入歳出差引額 14 億 3,452 万円【前年度：16 億 4,874 万円】
- ・実質単年度収支額 ▲3 億 4,764 万円【前年度： 8,162 万円】

一般会計決算の特徴

- 歳入は、地方消費税交付金が減となったものの、個人市民税等の地方税の増や、障がい者自立支援給付費負担金等の国庫支出金の増などにより、前年度比 4 億 7,419 万円の増となった。
- 歳出は、地域消費推進プレミアム付商品券発行事業の減等により商工費などが減となったものの、民設保育園の新規開園に伴う民生費の増や、臨時財政対策債の増等により公債費が増となったことなどから、前年度比 6 億 8,842 万円の増となった。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を加味した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、赤字となった。なお、財政調整基金残高は、前年度から 1 億 7,390 万円減の 24 億 6,687 万円となっている。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は 94.3%で、前年度（89.7%）より 4.6 ポイントの増となった。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、実質公債費比率が 0.6%（前年度 0.2%）となったが、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率については算出されなかった。
これらのことは、本市の財政状況が健全であることを示している。
- 平成 28 年度末の市債残高は 154 億 7,102 万円で、臨時財政対策債の増などにより、前年度から 6,033 万円の増額となった。
なお、市民 1 人当たりの市債残高は 20 万 4 千円となっている。

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	969,941	902,457	67,484
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	5,979	5,671	309
介護保険特別会計	407,926	382,835	25,091
後期高齢者医療特別会計	80,925	78,035	2,890

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、計算が合わない箇所がある。

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業	136,093	115,426	20,682	△15	20,667
下水道事業	196,772	182,118	16,578	△1,924	14,654

記者発表資料

平成29年8月31日

総務部財政課

担当者／課長 松井 俊之

電話番号／048-473-1111

内線2250

志 木 市